

「ザ・インタビュー2」～ニプレスを捨てたグラドル～

今日も、インタビュースタジオに一人の美女が足を踏み入れる。彼女は中田ゆず。国民的人気のガールズグループのメンバーでありながら、在籍中から刺激のかつ露出高めのグラビアでそのグラマラスな肢体を見せつけて活躍し、グループ卒業後ほどなくして、映画で衝撃のヌードを披露した。そして、この「ザ・インタビュー」へ召喚されたのだ。

MCの野村いつき(55)は、にやつく顔を隠そうともせず、衣装を下から突き上げる中田の胸のふくらみを舐め回すように見る。

「ようこそ、ザ・インタビューへ！中田さん、もうはち切れそうだね！あー、たまんない！」

アシスタントの朱夏(29)が呆れるように関西弁でたしなめる。

「野村さん、ダメですよん！もうはじめっからセクハラ全開や！ゆずちゃん、気にせずいこうで」

「今は厳しいんだもん。でも、このインタビュースタジオはセクハラ治外法権！だからみんなに見てもらえるんだよ！中田さん...あ、ゆずちゃんって呼んでいい？」

「は、はあ...」

「さあ、頑張って映画紹介して、大ヒットさせましょう！」

「そこは、うちに任せて！このインタビュー受けたらどんな駄作も...いやいや、それは言わんとこ。とにかく、ヒットさせまっせ！」

「はい...」

「さて、注目のヌードシーンは、開始から40分過ぎだね」

「いきなりそのシーンの話ですか...」

「そらそうよ、ていうか、この映画唯一の見どころやん」

「そんなことは...」

「ゆずちゃんの乳首目当てにみんな見るんやから」

「...」

「せっかく出したんだもん、沢山の人に見てもらおうよ」

「自慢のでっかいおっぱい、見て欲しいんやろ！今さらなんやねん...映画でもほとんどのシーンで薄着で胸強調しまくりやのに...さ、ノムさん行って行って」

「さあ、モニターで見て行きましょう。まずはラブシーンだね。でも、はじめっからおっぱいにしか目がいかないなあ」

「男ってイヤやなあ」

「...」

「さあ次のカット、ここでもうブラ取ってますね！...見えた！見えたぞー、ゆずちゃんの乳首！」

「おっぱい大きいわりに乳輪小さいねん。ギャップー！」

「...」

「ここで相手役の俳優さんがおっぱいわしづかみにしてるよね。ゆずちゃんが一瞬『ウッ...』って顔するんだよね。これはマジ？」

「...」

「不意をつかれた感あるわ」

「やっぱり、胸大きい子は強く揉まれた方がいいのかな？どうなの？」

「それ迷信やから」

「どうなの、ゆずちゃん？」

「...知りません...」

「うぶな振りしないでよ、おっぱいは大人なんだからさー」

「乳首も結構、色が濃い目で大人びてるやん」

「言わないで...乳首ばかり見ないでください...」

「見ない訳いかないだろー！俺が無理やり脱がせた訳じゃないんだから！」

「そうやで、自分から映画っていう媒体選んで、大画面でポロリンチョしといて、乳首は見ないで...は無いわ」

「...」